



2002-2003 年度のための
地区協議会 幹事部門
2002 年 4 月 6 日(土) テクスピア大阪

1. 基調講演

D G 前田 孝道



前田ガバナー

昔から「年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず」と云われています。ロータリークラブの役員も一年で交代していきますので、この言葉の通りでございます。新しく次年度クラブ幹事を勤められる皆様、ご苦労様でございます。クラブにとって扇の要になりますのが会長、幹事であります。クラブで起こったことはまず一番に会長・幹事がそれを掌握して判断し、決裁をしていくことになります。このような重要な役はクラブで、最も信頼される人に会長・幹事をお願いなさった筈であります。皆様はその信頼に基づいて、幹事にご就任なされ、次期一年間を担当されるわけであります。その反面、大変名誉であります。大勢の方から信頼をされるということは、一生の間にそう何度もあるわけではありません。「幹事を担当になられる皆様に心からおめでとうを言いたい。」

今年の桜は番狂わせでありました。例年より早く 3 月 16 日に開花宣言が出され、今日は花吹雪の中をやって参りました。春は色々なもののスタートであります。「幹事の皆様には喜びのスタートを切っていただきたい。」

私の年度も 3/4 が過ぎ去り、余すところ地区大会、バルセロナの国際大会を控えています。最後の仕上げをしっかりと遣りたいと思います。顧みれば、2001 年 9 月 11 日に米国の同時多発テロが起きました。新千年紀の初頭にあの大事件が発生しました。あのような事件はあるべき物ではないと思っておりますが、現実には誠に厳しい。人間同士の争いがいつまでたっても絶えることがないのは残念です。今後あのようなことのないように少しでも平和に向って欲しいと思っております。2004 年には大阪で国際大会が開かれ、2006 年にはシカゴにおきまして 100 年祭が開催されます。多数の参加を望みます。

今年度は D L P の試行期間で、ガバナー補佐の方が 15 名誕生しました。クラブ・アッセンブリ他、色々お手伝いをしていただきました。公式訪問の際、一つ一つクラブにより特色がありました。そのクラブの会長・幹事により、そのクラブの勢いが違ってくるのを感じました。会員の皆様と一致団結をしてロータリーのため、多くの人々のためご奉仕を賜りたいと思うのであります。

ポール・ハリスは「ロータリーは年と共に変わっていかねばならない」と言っています。ガバナー・エレクトの小島さんは地区では大変ベテランであり、掌を指す様に何でもご存知であり、当地区の機構その他について、全面的に改めようとしています。新しいガバナーにより、新しい方法で進んで行かれることに大賛成です。時代に即応する様に新しい時代に向かって、勇気を持って前進していただきたいと思っております。皆様方のご活躍を心からお祈りしています。頑張ってくださいように。ありがとうございました。

2.次年度の活動方針

D G E 小島 哲

初めまして、各クラブの会長エレクトさんとは昨年の春以来、4 回ほどお話をする機会がありましたが、幹事の皆様とは今日が最初で最後です。先輩のロータリアンのお話をよくお聞きになられて、一つでも何かお役に立つことがありましたら幸せでございます。

自己紹介をいたします。昭和 8 年生れの満 68 才。旧制中学の最後で、4 年後にやっと下級生が出来たような時代でした。英米に遅れている科学教育に追いつこうと優秀な児童を集め、科学特別学級を作れということで英才教育が始まり、そこに合格しました。俳優の伊丹十三、日本画家の上村篤などがいました。大学を卒業して岐阜の川崎航空に 5 年程いて、今の化学会社に移りました。父もロータリアンで 2 代目です。ロータリー歴 26 年目になります。

公式訪問は、今年度と同じく合同例会でお願いします。合同例会のホストクラブ、場所などを正確に把握出来ていませんので、ホストクラブの方はお知らせください。例会の日に会長・幹事の懇談会を単独でされるか、合同でやられるかはクラブにお任せしますから、どのような組み合わせでされるかをガバナー・エレクト事務所までお知らせください。

退会防止について

会員の維持に最大のポイントを置きたい。退会届を出さずに済むクラブの運営をお願いします。単に集まって食事をするだけでなく、クラブとしてどのようなことをすれば良いかを真剣に考えて欲しい。各金融機関の支店長が退会される場合が多いのですが、会社が費用を負担してくれないので退会されるのか、ロータリーに入っている値打ちがないと思われるのが大きな問題です。今ロータリアンになるには色々の費用がかかり、会費が高いのも一つの原因だと思います。少しでも安く出来る努力をしなければならぬ状況だと思います。入会金一つ取りましても推奨クラブ細則をそのまま使いますと、入会金はいくらと細則に出ていますので、変えられませんが、「理事会の決定がなければ」と一言入れて置きますと、クラブの理事会の決定で入会金を変更することが出来ます。今度、細則の変更がありますのでお考えください。



小島ガバナー・エレクト

奉仕活動について

財団、米山、社会奉仕、世界社会奉仕にしても奉仕の主体は各クラブがすることであり、地区はその応援をさせていただくことにします。青少年交換は非常に有意義であり、若いうちに他国で生活し、異文化に触れる経験をするのは大事なことでと実感していただき、送り出し、受け入れを積極的に試みてください。地区はその奉仕活動が上手く出来ます様に応援をさせていただき、道を付けるのが地区委員会の役目だと思います。私は今、各部門のカウンセラーの方々にその様をお願いしているところです。

増強について

昨年の会長エレクト研修会でのアンケートの結果で、平均 5.6%増強という数字が出ています。才門 P D G のお話では、5.6%増強するとなると 10%位の新入会員を増強しないとダメとのこと。次期 R I 会長のラタクルさんも、クラブが目標を立てられ、その目標が達成されればそれで充分だと言っています。私はこの話を国際協議会でお聞きし、心の中で快哉を叫んだのであります。

OA 化について

私の年度は報告書とかその他の物も印刷して皆様にお配りする形は取りません。月信をはじめ全てホームページに載せます。月信が必要な方はクラブの事務職員さんにプリントアウトしていただき、それをお読み願いたい。7 月早々にクラブの事務職員の研修会を持ちまして、その席でもお願いします。月信を例に

取りますと、毎月 20 日頃に月信をホームページに出しますので、事務職員がそれをプリントアウトして会長・幹事にコピーをお渡しして欲しい。会長・幹事はそれを読まれ、必要なところがあれば、例会のロータリー情報という形で会員の皆様にお知らせください。

各地区委員会の活動計画、活動報告、IM の報告、地区大会の報告など、すべてホームページに掲載しますので必要な箇所はコピーしてお読みいただくという形にします。このことは地区の経費節減になります。水田、前田年度のように色刷りの月信ですと 1000 万円程かかりますが、ホームページに掲載した場合 150 200 万円で済むと思います。

成川 P D G の時から O A 化を進め、3 年経ちほとんどのクラブがコンピューター O K になりました。クラブへの連絡は FAX をやめて E-メールでお知らせします。「クラブ委員長会議があります。」というのをホームページのお知らせの欄に掲載します。事務職員は新しいお知らせがありましたら、プリントアウトしていただきますと、案内と出欠表が出て参りますので、出欠の返事を記入して、返事は FAX でお願いします。ガバナー事務所に送られてきた FAX はいくつも委員会がありますので、委員会ごとにファイルに閉じ込んでおきます。E-メールより FAX の方が整理はし易いので、返事は FAX でお願いします。返事の有無も FAX の方が分かり易く、返事のない場合はガバナー事務所から返事の問い合わせをします。

質疑応答

Q : 田辺の野村さん

OA 化に付いてのお願い。報告その他はホームページで良いのですが、会議の案内、出欠の返事は事務職員と会長・幹事にしただけだとありがたいのですが？

出欠の返事もメールで送らせていただくとありがたいのですが如何でしょうか？

A : あるクラブはメールで、あるクラブは FAX でとなりますと事務が煩雑になる。メールで返事をいただいた場合、何かの用紙に出欠の有無を書き取る手間がかかります。FAX で返事をいただき、それをファイルして、返事の来ていないクラブには再度問い合わせをさせていただきます。

Q : 御坊の古久保さん

メールを見る作業を忘れがちになる。

A : クラブの事務職員にはホームページを見る習慣をつけていただきたい。E-メールの使い方も色々ありますが、まず見てください。プリントアウトをしてください。返事を書き込んで FAX をしてください。これだけのことを最低限マスターして欲しいと思っています。

Q : 古久保さん

ガバナー月信を発行しない分、ガバナー事務所の経費が浮くが、我々の方の経費が増えると思います。その辺のお考えは？幹事として月信は全員に見せたい。

A : 事務量が増える可能性は充分あります。その見返りに地区経費を少しでも安く出来ないかと考えています。この場所で地区協をさせていただくのもそのためです。

Q : 23 人のクラブで、事務職員は 3 時間だけボランティア的に来ています。地区経費もこの部分がこれだけ減るといふ具体的なお話はありませんか？

A : 地区会員数 3200 名で予算を立てていますが、6 月の末にならないと予想がつかえません。前半が終わればほぼ見当がつかますので、その時点で詳しく報告をした上で考えさせていただきます。地区協をこの会場でさせていただいている関係で、一クラブ当たり 6 万円程安くなっています。

A : 中村研修リーダー

私も幹事の経験がありますので皆様のご苦勞は解ります。やってみないと分からないので、会員の皆様にこのような状況を理解していただきたい。DLP のリーダーとして、この話はよほど上手くお話をしないと皆様から反発を受けますよと小島さんに言っています。

色々やりたいと思っています。その第一が月信のことです。月信そのものはガバナーから各クラブの会長・幹事に当てた通信文です。全会員に見ていただくということで今のようになって来たのですが、会員の皆様にはコピーを渡せばよいというのが原則です。その意味では会長・幹事にガバナーの意向を伝え、会長・幹事から間接的に会員にお伝え願いたい。これが本来の形です。その意味で今年度一年トライして、ダメなら次の年度元に戻せばよいと思います。かなりの混乱は避けられないと思いますが覚悟をしています。その代わり地区分担金の軽減でフォ

ローし、会員に幾らかでも還元出来る様にガバナー・エレクトにお願いしています。改革の根源はそこにあるのです。やってみては如何かと思っています。

Q：御坊東の尾崎さん

クラブの人数が 27 名です。地区としてペーパーレスでされるのかオールマイティに模索中なのかやってみれば良いと思います。私のところはガバナーのメールは私の処に来ます。私はそれを携帯で振り分けていますが、会員の中には「そんなことしたことがない」と言われます。

A：おっしゃる通りです。全部のクラブに同じ案内をする場合はホームページに載せます。IM 単位の場合は各クラブへ Eメールでお送りします。今、各クラブの事務職員にお願いすることは沢山あるのですが、クラブ内で使う場合はワープロと表計算を使いこなせるようにして欲しいこと、地区との連絡ではホームページを見ること、Eメールを読むことの 4 つをお願いしています。これはコンピューターの OA 化に関しては非常にベーシックなことです。これだけはやっていただけるようにお願いします。

ポリオ撲滅について

2005 年にロータリーの創立 100 周年記念事業としてポリオの撲滅宣言を出したいのです。そのためには来年の 9 月までに発生件数をゼロにする必要があります。その後、1 年 1 年半経過を観察して、ポリオの発生がないことを確認しないと撲滅宣言が出来ません。今世界で、昨年一年間で 450 件の発生件数があります。それをなくすための費用がいくら必要かを WHO、CDC、ユニセフ、ロータリーが集まって協議をした結果、実に 4 億ドルが必要となりました。途方も無い額です。

ロータリーが 1 ドル寄付すると、ビルゲイツ財団が同額の 1 ドルを出します。この 2 ドルに対して世界銀行が 1.5 倍の 3 ドルを出し

てくれます。ロータリーの 1 ドルが 5 倍になる。従って 4 億ドルの 1/5 の 8,000 万ドルを集めようというわけです。今さら 8,000 万ドルも足りないと言われても困ります。この前の国際協議会の席ではじめてこのことを知りました。今までワクチン代に関してはもう要らないと聞いていたので困惑しています。何かの読み違いがあったと思います。今世界中で年間 450 件の発生があります。1 件でも残っていますとぶりかえす恐れがあり、今までの努力が「元の木阿弥」になる危険があります。ゼロにしないといけないのです。今発生している所はワクチンを持って行き難い所で、戦争をしているとか、児童の居場所も確認しにくい地域で、ワクチンを投与するのに困難を極めています。しかし何とかしたいと思えますのでポリオに対するご協力をお願いします。

8,000 万ドルを集めようしますと、1 人当たり 67 ドルの寄付になります。日本には GNP からして、135-140 ドルをお願いしますと RI は言っています。2640 地区では非常に多額の財団寄付をいただいています。その上に 130 ドルを寄付していただきたいとお願いするのは今の経済状況では無理でございます。そこで次のようにしていただきたいのです。先般の会長研修会でのアンケートによりますと 200 ドルほどで例年より 1 割ほど少ないです。クラブ目標を 1 割ほど上乗せしていただきたいと思えます。

財団への寄付を 130 ドルになるまでポリオ・プラスの用途指定寄付として、財団にお送り願いたい。130 ドルを超えたものは一般寄付として今まで通りお送りください。これで問題があるのは、3 年先の DDF が 100 ドル余りで少なくなりますので、送り出す奨学生数が半分くらいになります。姑息な策ですが毎年試験に合格しても辞退される人が何人かいますので、それを 3 年後に使わせていただきますとそうは目立たないと思えます。

3. クラブ幹事に期待する

PGD 月山 和男



月山パスト・ガバナー

私が幹事をして 37-38 年、ガバナーをして 12-13 年経ちました。E-メール・・・はチンプンカンプンで、私自身は出来ないと思います。私の頃はよほど大きなクラブでないと事務員を常勤で雇えなく週に 1 日とか、3 時間来ていただけのだけでした。その様な状態では事務員に頼らず幹事自らが責任を持って毎日見ないといけないので幹事の仕事が大変でした。

月信一つとっても、この地区の出来はじめの頃、月信は会長・幹事にのみ送ることで始めましたが、3 ヶ月余りで喧喧諤諤の議論になり、元の印刷物に戻った経緯があります。そういう時代の流れを考えますと幹事の心構えも随分違ってくると思います。

幹事はクラブの要であります。なぜかといいますとクラブの内部のことを全て知っているのが幹事だと思います。私が幹事をした頃はロータリーに精通された先輩が沢山おられまして、3 年目で幹事を仰せつかったのですが一挙手一投足が見られ、色々聞かされました。私はクラブ定款・細則を丸暗記しました。手続要覧も 10 回は読んで、何処に何が書いてあるかを覚えました。幹事要覧も 5 回位読みました。私が何かをしますと、何を根拠にそうしているのかを質問され、それに答えるのに手続要覧の何ページの何処に載ってい

ますとか、クラブ定款・細則の第何節、第何項にこのように書いてあります。それに従ってしました。こう答えないと幹事の役は勤まりませんでした。もう一つ教えられたことは、幹事はあくまで幹事であり、会長ではないので、会長より前を歩む幹事であってはならないということです。もう一つ良いこと、誉められるべきことは全て他人に譲り、悪しきこと、叱られることは全て幹事の責任だといってお詫びをする。これが、私が教えられた教訓です。何故そうするかといいますと、皆様から立派な幹事だと思われることと、あの幹事のためなら何でもしてやろうというようにクラブの活動力が高まります。幹事は会員の名前、職業分類、紹介者、会社や家族の状況など、頭の中に入れておかないと幹事役は勤まらないと思います。心得としてそういうことをしていただきたい。そうすることにより信頼され、愛される幹事であれば、そのクラブは絶対もめることはないし、会員が減っていくこともないと思います。

退会防止の話がエレクトからありました。新入会員が退会するのを如何に防ぐかというお話でしたが、逆に今までロータリークラブに貢献され、ロータリーに精通した人が今のロータリーに対して嫌気をさして辞めていく方が増えてきていることも事実です。その様な立派な方が辞められることはクラブにとりまして大きな損失だと思います。是非そこらあたりを考え、幹事さんが退会届を出させないようにして欲しい。小島エレクトがいわれましたがこのへんの手当てを充分に考えていただくことも、会員が減らないことの一つだと思います。現実私が入会したのはクラブ創立 8 年目でしたが、ご病気で亡くなられた人もありますが、今申した理由で辞められた方々が多くおられたのも事実です。そういうことのないようにご尽力いただけたらと思います。

4.幹事の実務

P D G 才門 三郎



才門パスト・ガバナー

幹事はクラブの中枢機関であり、会長と常に密接に連絡をとり、クラブの運営にあたらねばなりません。幹事に課せられた任務は極めて広範にわたるため、その事務処理を一部事務職員に委ねることもありますが、その責任はすべて幹事にあります。

幹事は常に「手続要覧」を所持する必要があります。わからないことがあれば、まず手続要覧を見ればたいていのことは解決します。

近隣クラブの会長・幹事、地区の役員、委員との接触も多く、ロータリー・クラブの友情を最も多く得られるのは幹事です。幹事は確かに忙しい職務ですが、これほどやりがいのある仕事はないと経験者の一様の感想です。

幹事の責務は「幹事要覧」に記載していますが、どうしても実行していただかねばならないこと、心得ていただくことを27項目にまとめました。

1. 予算の作成（会長と一緒に自分で組む）
2. 5月末までに「クラブ計画書」、「週報1ヵ月分」をガバナーに1部、ガバナー補佐に1部提出する。公式訪問の2週間前までに「活動計画書」、「週報1ヵ月分」をガバナーおよびガバナー補佐に提出。
3. 毎年7月1日および1月1日現在の半期会員報告の作成、送付
4. 理事会の通知、議事録の作成
5. 理事会決定事項の会員への通達
6. 会員の入退会報告（7月および1月の半期会員報告以外に、10月1日と4月1日にまとめて報告する。）
7. 国際ロータリー日本支局よりの書類、メー

- ルについては絶えず関心をもつ。
8. ガバナー事務所よりの委員長会議その他の案内については迅速に手配する。
9. クラブ例会の月次出欠報告と送金明細書
10. 会員記録の整理保管
11. 諸会合の出席の記録
12. クラブ週報は1ヵ月分をまとめてガバナー事務所、ガバナー補佐に提出。
13. 会費の請求と入金の確認（遅延会員に対してはその請求は幹事の責任である。）
14. クラブ役員、理事の選出についての手続を確実にこなすこと。
15. 地区大会の登録・出席の要請・選挙人を選出し信任状を必ず指定期限までにガバナー事務所に提出すること。
16. 国際大会には代議員を選出し、信任状をガバナー・エレクト事務所に提出すること。
17. 定款・細則の熟知
18. 理事会における幹事の位置は、単なる事務幹事か、理事会における職権上の理事（議決権がある）か確認しておくこと。
19. 毎例会における会長報告・幹事報告について打合せ、重複のないように調整する。
20. 各委員会の開催通知と委員会の協議内容の報告を受け、会長、委員長とその実施について協議する。
21. 委員会より報告された方針・実施計画をもとにクラブ委員会活動計画書を作成する。各委員長と打合せ、活動計画の進捗状況をよく把握して、計画に終わらないように促すこと。
22. 会員の動向に常に気を配り、会長に報告しその対応を相談する。
23. クラブ協議会、クラブフォーラム、インフォラームミーティングに出席は勿論、他の集会にも極力出席した方がよい。
24. 事務所発着の書類は必ず幹事が目を通し責任をもって、迅速に処理する。
25. 各委員長に例会にて、地区開催のクラブ委員長会議の報告ができるように予定を組む。
26. クラブ外への公式書簡を出せるのは会長と幹事であり、他の会員がクラブ名を使用して書簡を出すことはできない。
27. 幹事は常に所在を明確にしておく必要がある。（緊急時のために）

5.規定審議会の重要変更点 改訂された定款・細則

P D G 中村 幸吉

先程、月山 P D G、才門 P D G が、私が幹事をしてきた古い時代によく聞かされた古臭いお話をされましたが、あれがロータリーなのです。ロータリーの根本は手続要覧だの難しいことをいいますが、両 P D G の話の中にチラチラとでてくる幹事に対する心温かい思いやり...これがロータリーです。そういう点を今日会得して、クラブ運営に当たっていただければロータリーは万々歳です。ただ、それ以外に心得ていただければよい細かい事柄を説明します。

前述の才門 P D G の幹事心得 27 ヶ条を守っていただければ、名幹事になれます。クラブ幹事は幹事要覧、定款・細則をよく勉強してください。精通していなかったために、クラブが迷惑を被ることがあります。それに気をつけていただければ、「幹事ほど面白いものはない。」というのが私の感想・実感です。会長は責任だけ重くて面白いことはありません。

定款・細則とは国際ロータリーが決めて、国際ロータリーの一員である各クラブが遵守するのが原則です。決まった定款・細則には違反しないように、幹事さんが内容を充分按配し

てください。しかし、実際には定款・細則に合わない不都合な点が出てきます。そのため、3年に1回の規定審議会で変更の申し入れ(制定案)をすることができます。規定審議会で通った制定案は、その年度の定款・細則に反映されます。

2001年の規定審議会は議題が多くて、日本語版の定款・細則ができたのは2002年の3月です。その中で、改訂された点は4つです。よく勉強しておいてください。

- ・ 会員の種別が正会員と名誉会員のみになりました。
- ・ 定款が分かりやすくなりました。
- ・ クラブの区域限界がなくなり、クラブの所在地のみになりました。
- ・ クラブ理事会の権限が広くなりました。

また、2001年に制定された新しい推奨クラブ細則に基づいて、各々のクラブ細則の見直しをしていきたい。

最後に、いくら定款・細則に精通していても、それだけでは名幹事になれません。会員の皆様に信頼していただいてこそ、名幹事です。

6.次年度のクラブ活動に期待する

P D G 水田 博史

会長エレクトさんといろいろ相談して準備を進めていると思いますが、先程、中村 P D G が「幹事は楽しい。」と言っていたことを心に留めて、1年間頑張ってください。

ロータリーの活動の核心はクラブの活動と会員一人一人の活動です。地区のガバナーや R I の会長や理事ではありません。昨今、ロータリーは沈滞しているといわれますが、クラブの活動を活発にすることが、ロータリーの発展につながると私は思っています。

そのためには、ロータリーの組織などを簡素化する必要があります。それは D L P (地区リーダーシッププラン)であり、クラブ主導型と地区主導型に分けられた委員会組織の改革です。また、今回の8部門に分けて開催される地区協議会のあり方です。昨年までのように1回で開催すれば1日で済みますが、ガバナー・エレクトは会長部門のみしか出席でき

ません。今回のようにすれば、皆さんといろいろ意見交換をしながら進めることができます。経費の面でも軽減することができます。月信のホームページ化のように改革には多少の痛み(クラブの出費や労力)が伴いますが、各クラブの会長さん、幹事さんおよび会員の皆様のご協力をお願いします。

私の年度は、アンケートをとった結果、月信を全会員に配布しましたが、あまり読んでいただけなくてがっかりしました。多大な労力と経費を投じて作成しましたが、クラブの会長ですら読んでいないことがありました。逆に、ホームページに月信を掲載する方がよく読んでいただけるとは思いません。またホームページを見ることにより、いままで以上にロータリーに関心を持っていただけるのではないかと、私は思います。以上の点から、私は月信のホームページ化に賛意を表しまし

た。

今月は雑誌月間です。月信もあまり読まれていませんが、読まれざるベストセラーといわれるのが「ロータリーの友」です。ロータリーの友は有料(200円)です。会費の中から支払われているため、実感のない方が多いと思います。皆さんがお金を出して雑誌を買われたら、必ず読まれるでしょう。そのような感覚でロータリーの友を読んでください。ロータリーの友にはロータリーの知識が満載です。今日のロータリーの動きが非常によく分かります。ロータリーの友もこの雑誌月間を契機に読んでください。

R Iへ7月と4月に人頭分担金を送りますが、幹事は必ず確認をしてください。R Iへ分担金が納入されていない場合、R Iからクラブを終結するという通知がきます。これがくると大変なことになります。注意してくだ

さい。

最後に、最近思っていることを述べさせていただきます。R Iから会員増強、地区リーダーシッププラン、ニューモデルプランなど押し付けがましくいつてきますし、またそれについて多少の反発も感じますが、最近世界のロータリーは激しく変化しています。一例ですが、当地区の会員増強は10数名の純増、日本では150名程度も純増ですが、世界では47,000人も純増です。世界のロータリーが大きく変化していることを承知して、21世紀のロータリー活動を考える必要があります。そのためにはもっとロータリーのことを知り、勉強する必要があります。職業奉仕について、またロータリーの原点などについて、多少なりとも勉強して、世界の動きに対応したロータリー活動を目指す必要があります。

7. 質疑応答および閉会の挨拶

小島DGEからのお願い

- ・ 月例報告書について、1~2回は幹事自ら記入して送ってください。読みやすいように大きな字でお願いします。
- ・ 資料に載せていますクラブ一覧表(クラブ住所、電話、FAX、例会場など)、クラブ役員・理事名簿などに間違いがないか確認願います。
- ・ 昨年の規定審議会で定款・細則の改訂がありました。これを機会に各クラブで細則の見直しをしていただきたい。実際細則どおり運営しているのか確認してください。現実運用していることを細則に盛り込んでください。

Q：公式訪問の日程と周年行事が重なるので、日程を変更して欲しい。

A：一緒に合同例会をするクラブと相談の上、日程を連絡していただければ、こちらで調整します。

Q：クラブ定款・細則の改訂はこの7月の新年度からでよいでしょうか。

A：規定審議会で改訂された点は、昨年の7月から実施運用されていますが、定款・細則の日本語版ができてこないので変えよ

うがありません。日本語版ができてから変えられたらどうでしょうか。

Q：定款・細則を見ても、次期クラブ委員長の決め方およびそれについて次期理事会の承認が要るのかなど載っていないので、教えてください。

A：会長と幹事が決める、次年度の各理事が推薦などの方法があります。次期理事会の承認が要りますが、決めた時点では理事会としての権限がないので議事録を残し、新年度の最初の理事会で再確認してください。

閉会の挨拶(前田DG)

皆様長時間にわたりお疲れ様でした。纒々ご審議をいただき、いろいろ有効なお話を聞いていただきありがとうございました。次年度、小島ガバナーを中心に頑張ってくださいよう、心から声援を送らせていただきます。

閉会の点鐘(小島DGE)

今日は皆様ご苦勞様でした。次年度一年間よろしく願います。これにて終了いたします。ありがとうございました。